

# 医療法人社団博鳳会 敬愛病院

院長  
樋口 輝美



施設外観

### 施設概要

当院は元々、東京都豊島区椎名町で約50年間地域医療に貢献してきましたが、2007年にリニューアルすることになり、現在の板橋区向原に新設しました。また、2009年には、敬愛病院附属クリニックを当院の近隣に開設致しました。

### 基本方針

当院では、患者さんの目線に立った診療をすることを基本方針としています。透析治療では、患者さんは横になっていらっしゃいますから、医療側が上から見下ろす形になりがちです。ですが、診察の際には、あくまで患者さんの目線、考え方、立場に合わせて物事を考え、お話し、診療を進めていかなければならないと考えています。院内には「ご意見箱」を設置しており、患者さんが気づかれたこと、ご不満に思うことなどを投書していただけるようになっています。忌憚のないご意見を頂戴することは、われわれにとってもプラスになり、現実改善された例もあります。また、当然のことではありますが、良い医療を行うことを何より大切にしたいと思っています。われわれが今できる最新の医療を提供することによって、何かあったときは敬愛病院へという信頼を、患者さんからも開業医の先生方からも得ていきたいと思っております。

### 施設紹介

腎臓内科と循環器内科が二本柱で診療しております。樹木に例えれば、この2科は大きな枝で、大学病院を経験した常勤の医師が担当しています。循環器内科は、副院長を中心に心臓カテーテル治療をはじめとした医療を行っております。糖尿病内科、呼吸器外科、消化器外科、および皮膚科は枝葉にあたり、これらの科では、大学病院等で中核を担う先生方が非常勤という形で診療しております。

### 特徴と取り組み

当院は、大学病院をはじめとした基幹病院に比べると規模は小さくなります。しかし、逆に言えば、当院ぐらいの規模の病院ですと、小回りがきくところが利点でもあります。必要な検査(採血、採尿、CT、エコー検査、等)を受診日に済ますことが可能であり、頻回な来院が必要ではなく、また、それらの結果まで、ご紹介いただきました開業医の先生方にフィードバックすることができます。

さらに、透析患者さんに対しては以下の取り組みを行っております。

#### ① Accessの管理

Blood accessは透析患者さんの生命線といっても過言ではありません。当院では、accessの手術を年間240件程





写真 透析室 スタッフ

度行っております。また、シャントの狭窄、閉塞あるいは鎖骨下静脈や腕頭静脈などの病変により、静脈高血圧症等の血管内治療を年間340件ほど行っています。

## ②臨床研究

当院では、臨床研究を進んで行き、学会発表や論文化することで、全国への発信も行っています。慢性腎不全というのは特殊な病態で、まだわかっていないことがたくさんあります。ある薬剤について、これまで明らかになっていなかったような効果や適量等を臨床研究し、その結果を国内外の医学雑誌に発表しています。これらの結果をもとに、製薬会社や大学病院の研究が進み、合併症を予防するような新薬の発見、治療の実現につながればと考えています。

## ③合併症対策

腎臓病の場合、心血管疾患との合併症が多く、透析の患者さんが合併症を起こす要因としては、栄養状態の悪化、慢性的な炎症、尿毒素の蓄積、酸化ストレスなどがあげられます。当院では、このような悪さをしている元を断ち切ることで、合併症が予防できるのではないかと研究を進めています。予防がうまくいかず悪いサイクルに陥ってしまうと、狭心症、心筋梗塞、脳卒中、足の閉塞性動脈硬化症

といった循環器系の疾患が起きやすくなります。当院では、合併症が起きてしまった場合には、腎臓内科と循環器内科の医師が一緒になって治療を進めています。どんなケースでも治療をするということではなく、「この程度であれば経過観察をしましょう」ということもあります。

## これからの抱負

病院と病院の病病連携と、病院と診療所の病診連携を図ると同時に、院内でもさまざまな組織間のタテとヨコのつながりを大事にしていきたいと思えます。特に、近隣の開業医の先生方との連携を密に取っていきたく思っております。地域の中核的な存在として、当院で患者さんの検査、治療を行い、開業医の先生方にお返しする。そういうスムーズなやり取りができればいいと思えます。これからも、透析の患者さんに当院であれば大丈夫とっていただけるよう、全力を尽くしたいと思えます。

### 〈お問い合わせ〉

医療法人社団 博鳳会 敬愛病院  
〒173-0036 東京都板橋区向原3-10-23  
TEL:03-3973-3811(代表)